

コロナウイルスに対する八重山生活の現状と提案

物流と経済を支え 感染率を下げる仕組み

ていだくる合同会社
tida.kukuru@gmail.com



観光地と感染 求められる新様式



世界中で猛威を振るうウイルスの影響は、八重山においても例外ではなく、不安とは隣り合わせの日常です。

自治体、島民、一丸となって立ち向かっている最中ですが病院も無い小さな島で「感染者になってしまうこと」は大変な脅威と言えるでしょう。

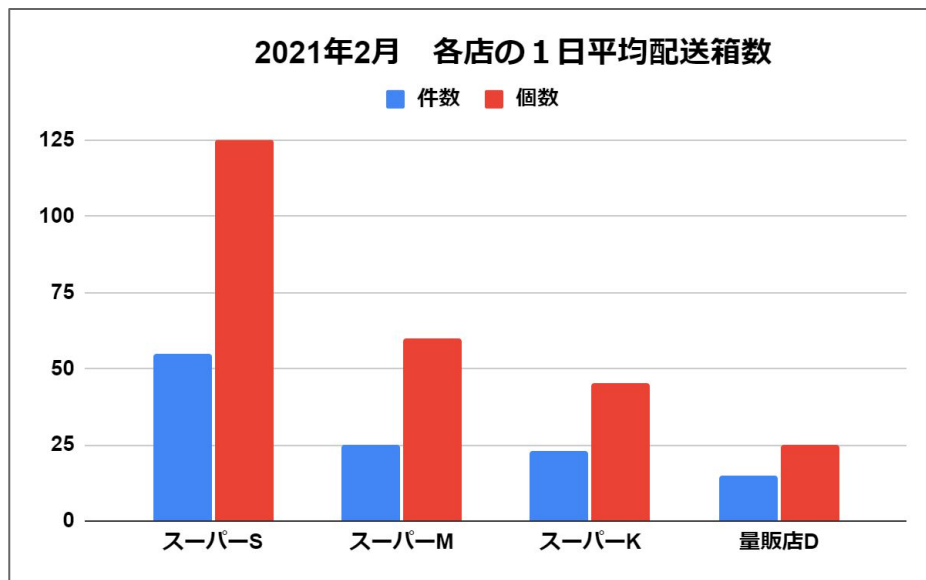
GoToキャンペーン、年末年始、春休みシーズンには八重山の観光客数が集中した結果、感染者は増え、離島往復の高速船は全国からの人で満員状態になる日も多くありました。

「見えないウイルスの脅威」と闘い続けなければならない状態が続いています。



配送業務から見た課題

私達は石垣島内の大手量販店にて「離島配送部門」に従事しています。離島から石垣島に来られた皆様の買物商品を、港まで取扱う業務です。大手4店と協力し、1日平均250～300個の船積みを行います。今年の2月は航路減便中でも流通量は1日150箱以上もありました。多くの離島住民が、コロナ禍での買い物を強いられています。



本音と不安 離島の買い物

以下はお客様との会話の一部です。

「検査して自分が感染したら島に帰れない」

「緊急事態宣言中でも買物は必要」

「船内は都会の満員電車と同じだ」

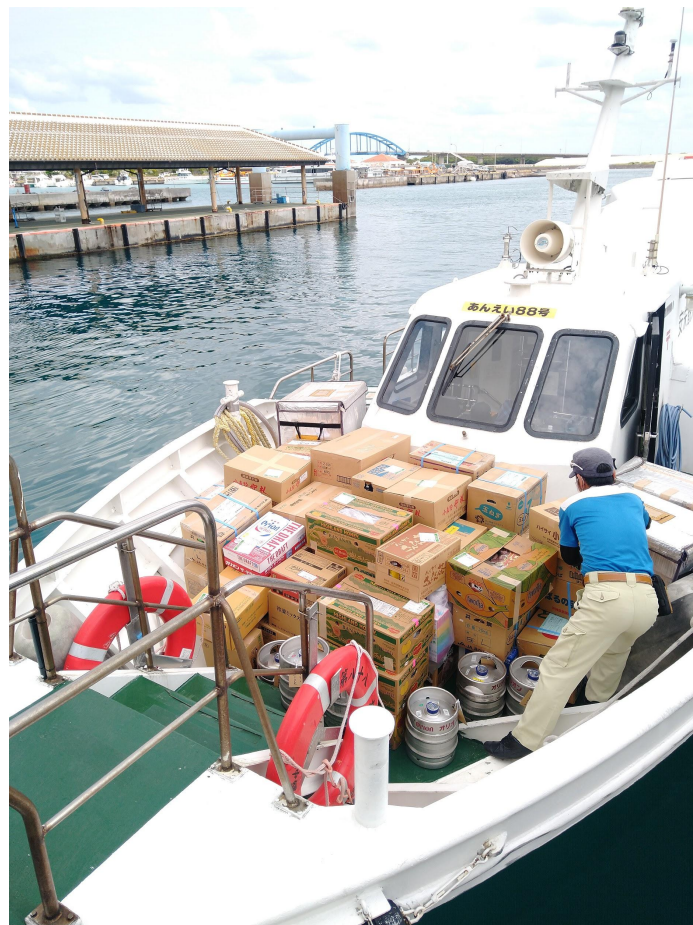
「観光客と隣に座るのがこわい」

「頼めるものなら誰かに頼みたい」

多数のお声を聞きました。

また、特売日やタイムセールにあわせて買い物ができず、お財布事情にも影響があるそうです。

石垣に住む私達にとって「日常の買い物」も、離島の皆様には大変なことだとわかりました。



感染源となる買物行動

買物に潜む感染リスク

- ・密集した船内で15～60分以上の往復。
- ・港から店に、公共手段等の利用を往復。
- ・複数店舗で買物をしてまわる密
- ・触れる物や密状態、行交う人、離島生活の何十倍。

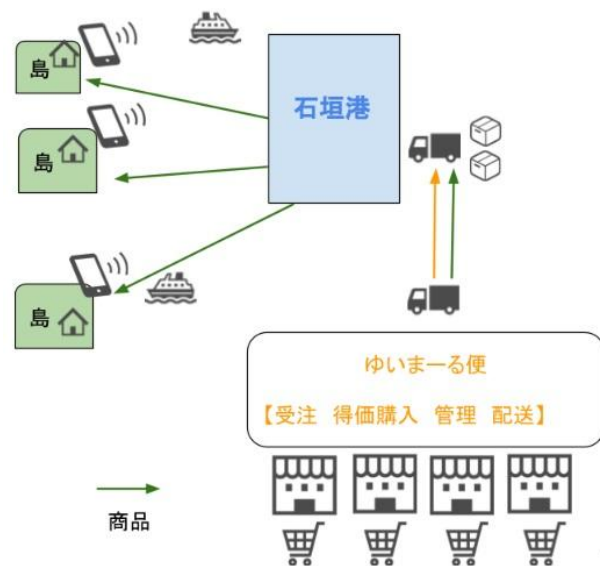
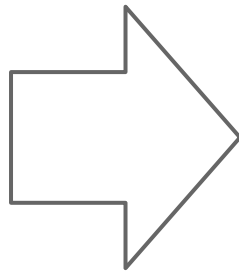
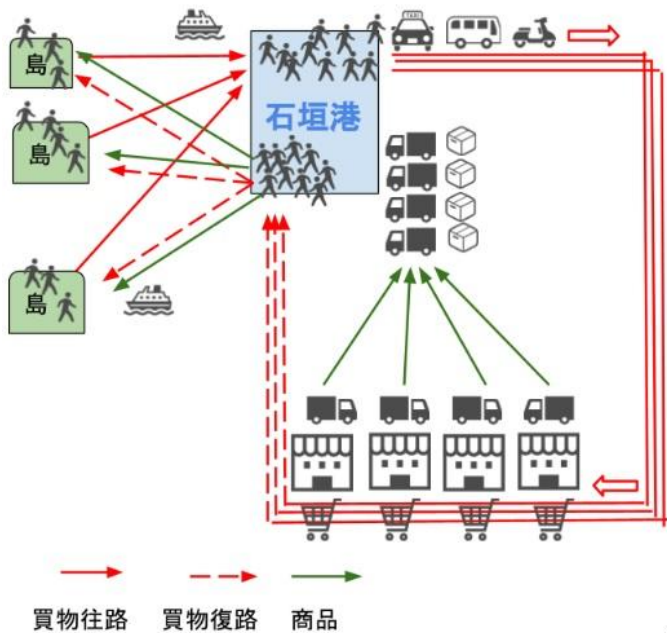
地域の対応と現状

- ・マスク・アルコールなど
各店舗や個人の努力は尽くされている
- ・空港の検温も実施するが、密集した時期に**感染者が増加した。**
- ・島民の日常は数十年前と同じ買物行動。

- ・**島民、観光客の移動に大きな変化が無い**
- ・**港や船が同じ、避けることができない**
- ・**買物は生活行動の一部で停止できない**
- ・**抑えすぎると、経済や物流が停滞**

すぐに解決、対応できること

- ・買物代行業務
- ・スーパー4店舗の安値を探し購入する
- ・既存スーパー未対応の与那国島、波照間、鳩間島に対応
- ・家から手軽に注文
- ・ネット販売していないような商品も配送可能



ゆいまーる便 導入後のメリット



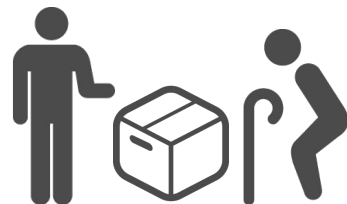
最安値の購入



複数店舗から選択



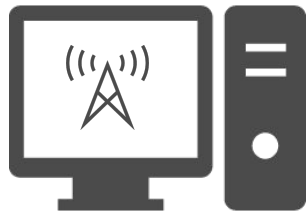
注文・支払いデジタル



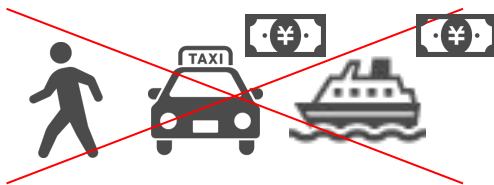
【代理店】受注配達



全島対応



お得情報 送信 →



移動不要



家族時間充実

総務省が掲げる対コロナ新生活様式 八重山の未来

八重山諸島は世界に誇れる観光地です。

変異型の蔓延、国内外の旅行者が増えることを想定しても、不安が募るばかり。島を想い、来島を遠慮される観光客もおられます。旅行者が増えても、島民は手放しでは喜べない現状です。

いまこそ、離島地域ならではの条件をアイデアと実行力で乗り切り、全国にも先駆けて生活そのものをデジタル化、安心できる島の魅力を発信しましょう。

便利で安心な新様式物流支援事業「ゆいまーる便」なら、新生活様式を可能にします。すべての島に対応し、お得商品で家計を助けます。移動しないで感染を防ぎます。旅行者が増えても、不安や心配は増えません。安心して来島歓迎PRをし、出迎えることができ、地域全体が潤います。

便利で不安のない美しい島には、若者が戻り子供も増えます。伝統や産業も受け継がれ、国立公園、民謡舞踊など、残された宝が守られるはずです。